

平成20年 日本生涯教育学会「研究助成金」応募要綱

1. 研究助成年間計画

平成20年日本生涯教育学会「研究助成金」の年間計画は次のとおりです。これを参考に、研究の実施計画を立ててください。

平成20年7月末日	平成20年日本生涯教育学会「研究助成金」応募締め切り
平成20年11月	日本生涯教育学会第29回学会大会において研究助成が決定した会員を発表 助成金交付決定ならびに助成金交付申請書の送付【学会事務局から助成対象者へ】
平成20年12月	助成金交付申請書（研究計画書・予算書）提出【助成対象者から学会事務局へ】
平成21年 1月	委託研究費概算金送金【学会事務局から助成対象者へ】
平成21年 7月	中間報告：進捗状況報告を提出【助成対象者から学会事務局へ】
平成21年11月	日本生涯教育学会第30回大会における当該研究の発表
平成22年 2月	研究費報告・研究成果概要等を提出【助成対象者から学会事務局へ】
平成23年 3月	上旬に、研究成果報告提出【助成対象者から学会事務局へ】 日本生涯教育学会年報への論文投稿申し込み

助成対象者による当該研究成果の第30回日本生涯教育学会大会における発表と研究成果報告書の提出ならびに日本教育学会年報への投稿は義務とします。

日本生涯教育学会第30回大会への参加旅費・滞在費は、研究助成金から支出することができます。

研究成果報告書はA4用紙10頁程度にまとめ所定の様式にしたがって印刷用原稿を提出し、日本生涯教育学会論集に掲載します。その際、印刷費として20000円が必要となりますので、研究助成金からの支出経費として予定しておいてください。

2. 応募申請書記入上の注意

(1) 1頁目の*印のついた項目（会員番号、入会年、会費納入状況）は事務局で記入しますので、空欄にしておいてください。

(2) 2頁目の研究業績については、1、2、3ともに発表年を（3のプロジェクトについては実施年）を明示してください。

(3) 5頁目の研究実施計画（スケジュール）は、経費の支出が必要な理由が明確になるように記入してください。

(4) 6頁目の本研究助成に対する支出計画に例示されている各費目には次のようなものが含まれる。

○備品：パーソナルコンピュータ、パソコン周辺機器、カメラ、録音機器、書籍など。

○消耗品：文房具、ファイル用品、プリンター用インク、パソコン用ソフト、メモリーなど。

○旅費：学会参加のための旅費、調査研究旅費

○謝金：研究補助者に対するアルバイト謝金、翻訳謝金、講師謝金、専門的知識の提供に対する謝金などが含まれる。

